

内閣総理大臣杯争奪  
第39回日本車椅子バスケットボール選手権大会  
個人トータル表

2010年5月5日 12時20分開始

3位決定戦

東京体育館 M - 7

富山県WBC  
(東海北陸)

52

10	1クォーター	25
10	2クォーター	31
19	3クォーター	10
13	4クォーター	16

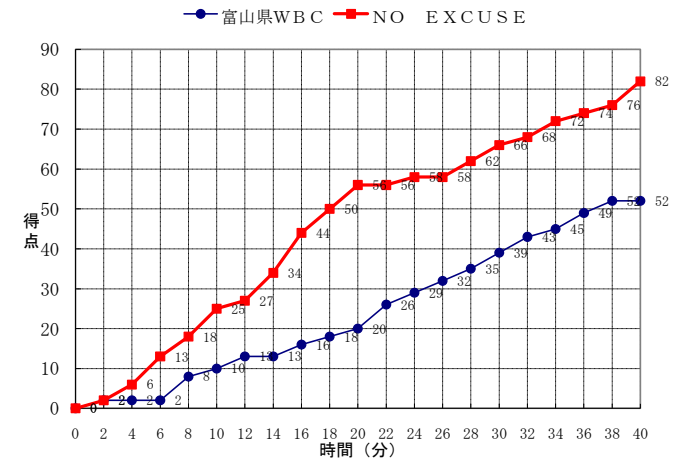
82

◎  
NO EXCUSE  
(東京)

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	
4	山口 健二 (4.5)	0	0	0	0	-	-	1	* 4	佐藤 聡 (1.0)	10	0	5	0	-	-	2	
* 5	森 泰誠 (2.0)	13	0	5	3	-	-	-	* 5	佐藤 大輔 (2.5)	8	0	4	0	-	-	3	
6	松元 健悟 (3.0)	-	-	-	-	-	-	-	6	丸山 範晃 (3.0)	0	0	0	0	-	-	0	
7	島 正樹 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-	* 7	寺田 正晴 (3.0)	6	0	3	0	-	-	0	
* 8	高田 淳一 (2.0)	2	0	1	0	-	-	4	8	大嶋 義昭 (1.0)	4	0	2	0	-	-	2	
* 9	堀田 良明 (4.0)	2	0	1	0	-	-	3	9	安藤 翔治 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-	
10	円山 真一 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-	* 10	神保 康広 (3.0)	28	0	12	4	-	-	4	
11	安田 武志 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-	11	三浦 恭寛 (4.5)	-	-	-	-	-	-	-	
* 12	宮島 徹也 (4.0)	24	2	7	4	-	-	3	12	菅澤 隆雄 (4.5)	11	0	5	1	-	-	2	
13	浦田 蒼伍 (3.0)	0	0	0	0	-	-	0	* 13	及川 晋平 (4.5)	15	2	4	1	-	-	3	
14	中村 昌樹 (2.0)	7	0	3	1	-	-	0	17	大曾根 佳太 (4.5)	-	-	-	-	-	-	-	
15	平山 丈貴 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-	18	池田 貴啓 (3.5)	-	-	-	-	-	-	-	
16	中川 高充 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-	19	佐藤 剛基 (4.0)	-	-	-	-	-	-	-	
* 17	野沢 拓哉 (1.5)	4	0	1	2	-	-	1										
コーチ	島 正樹								コーチ	及川 晋平								
Aコーチ	熊本 菜摘								Aコーチ	宮本 有里恵								
マネージャー	釜谷 好美								マネージャー	杉山 美穂								
マネージャー	沢崎 優美								マネージャー	加藤 多恵子								
マネージャー	堀 郁也								マネージャー	山下 正信								
合計		52	2	18	10	0	0	12	合計		82	2	35	6	0	0	16	

主審： 増竹 昇  
副審： 祖父江 達也  
副審： 吉安 ゆみ

得点経過



〔戦評〕

3位決定戦は富山県WBC(白)対NO EXCUSE(青)。スターティングメンバーは白⑤、⑧、⑨、⑫、⑰。青④、⑤、⑦、⑩、⑬。  
**【1Q】** 青のタップアウトで試合開始。互いのマンツーマンが固く、初盤は得点に繋がらない。しかし、白の際どいディフェンスにて、チームファウル5回。片や青は重圧感すら感じさせる落ち着いた攻撃によって得点を重ね始める。青⑬の指令のもと、⑩がゴール下よりシュートし得点。また、⑬自身も外側、内側から変芸自在な攻撃。白は⑧が動きのいいディフェンスを見せるが、チーム自体に波が起きない。1Qは10-25。青リードで終わる。  
**【2Q】** 白のディフェンスがゾーンに切り替わる。相変わらず際どく見えるが青のファウルを誘う。効を奏したか、青のチームファウルが前半で5回を超える。青⑬はチェアトラブルに見舞われつつも、2本の3Pシュートを決め、得点を導くプレイに徹する。⑤、⑫の相手の裏を突く攻撃で連続得点。白は⑤、⑫の得点はあるものの、動きに鈍りが見られ始めた。2Qは20-56。青が点差を広げる。  
**【3Q】** メンバーの入れ替わりはなかったのだが、白の動きがこの回にきて変わった。⑭、⑯の連続シュートが決まり、更に⑯の3Pが決まる。青のファウルを誘うゾーンディフェンスは健在。更にマンツーマンと巧みに切り替えているようだ。青も翻弄され気味に見えたが、④、⑫、⑬が落ち着いたプレーでシュートを決めていく。しかし、白のチャンスメイクが冴え、それを活かしていた。3Qは39-66。白の追い上げが始まったか。  
**【4Q】** 開始後間もなく、青のパワークに切れ味が増す。④、⑩によるシュート本数と精度が増す。白もゾーンディフェンスで応戦するが、青のシュートコースを潰せない。更に攻撃でもピック&ロールが決まらずチャンスメイクがままならない。⑯、⑰による外側からのシュートしかできない。残り1分ごろより、青のTカップにより目に見えて動きが悪くなる。残り0.5秒。青⑩のシュートがとどめとなった。